

# スピードスケート 男子500m・1000m 森重が北京五輪代表に

## 1万ドル 土屋さん(平29経営)も

### メダル獲得に期待

2月4日に開幕する北京冬季五輪のスピードスケート競技日本代表に、スピードスケート部の森重航(経営3・山形中央高)同部OBの土屋良輔さん(平29経営、メモリード)が選出された。2人は北京オリンピックのスピードスケート日本代表選手選考会(12月29~31日、長野県)に出場。森重は男子500mで優勝、1000mで3位となり2種目の出場権を獲得。土屋さんは1万ドルで自身

の持つ国内最高記録を更新して優勝し、2大会連続の出場を決めた。北京でメダル獲得を狙う。森重は、ワールドカップ第3戦の500mで初優勝を遂げるなど、2021年は世界の舞台で活躍した。代表入りへ格好のアピールの場となったW杯について「連戦のなかで、レースごとに課題を持って取り組んだ。第3戦では500mで初めて33秒台を出すことができ、記憶に残る大会となった。日本の短距離陣は実力が拮抗しており、代表選考会では誰が勝つか分からなかった。W杯で代表入りが決まるといった話を聞き、ホッとした」と振り返った。北京五輪に向けて「初めての大舞台で緊張すると思うが、悔いのないレースをしたい。自分の思い描くレースを表現することを第一に考え、結果ばかりを求めないようにしたい。日本代表としての誇りを忘れず、一つでも上の順位を目指す」と熱い思いを語った。進化を続ける森重の活躍を応援したい。(小田島美玖・文1)

### ノルディックスキージャンプ 馬場さん(令2経営)が代表確定

スキー・クロスカントリースキーのW杯(1月4日、イタリア)男子10キロリレーで、馬場直人さん(令2経営、中野土建)が8位に入賞した。この結果、全日本スキー連盟が定めている五輪派遣基準を満たし、ノルディックスキージャンプの日本代表入り

が確定した。河名は「優勝に届かず、力不足を痛感したが、学生最後の試合(3位決定戦)を勝利で締めくくることができて良かった」と語った。(寺田美結・文3)

### 河名、吉永が3位

全日本レスリング選手権大会(12月16~19日、世田谷区・駒沢体育館)で、河名真斗(経済4・三次高)と同部OBの吉永信太郎(経営4・玉名工高)がともに3位に入賞。大学生活最後の大会で表彰台に上り、有終の美を飾った。河名は「優勝に届かず、力不足を痛感したが、学生最後の試合(3位決定戦)を勝利で締めくくることができて良かった」と語った。(寺田美結・文3)

### 男女ともリーグ制す

秋季関東学生卓球リーグ戦(12月1~8日、埼玉県・所沢市民体育館)で、男子は6戦全勝、女子は6勝1敗で大会を終え、男女ともに優勝を果たした。

男子主将の月館駿介(人間科学3・日大豊山高)は「みんなが声を出し、ゲームにも集中していた。良いチームになっていた」と話した。女子主将の大島奈々(文3・愛知みずほ大瑞)は「試合に出場している選手も出場していない選手も同じ気持ちを持って戦えたことが結果につながった。春季は全



### 歓喜！初戴冠

全国各地域の代表12校が出場した全日本大学サッカー新人戦(12月20~24日)で、専大が初優勝を飾った。決勝は一進一退の攻防が続き、0-0のままPK戦に突入。GK倉田一唯(商2・日体大柏高)が2本をセーブ、チームを勝利に導いた。キャプテンを務めた東海林泰地(法2・清水桜が丘高)は、「粘り強く最後まで諦めない気持ちが優勝につながった。この経験をチームに還元したい」と決意を述べた。(倉鹿野雅賢・経済3)



軽やかな滑りで日本代表選考会を制した森重=撮影・石井沙弥佳(文3)

# 専大スポーツ

No. 425

専大スポーツ 編集部 公式 WEB

Twitter @sensuponow Instagram sensuponow

筑波大との3位決定戦に58-69で敗れ、4位で幕を閉じた。個人では、キング開

### チームでつかんだ4位 4人が個人賞獲得

全日本大学バスケットボール選手権大会(12月6~12日、渋谷区・代々木第二体育館)で、



チームをけん引したキング主将(撮影・岡本真凜(経営4))

また、コロナ禍という難しい状況のなか、主将としてチームをまとめたキングは「コミュニケーションを取ることを意識した。大会結果は満足はいくものではなかったが、いいチームに成長できた。個人賞も自分一人の力で取れたものではない。チームの皆に感謝したい」と語った。(天津友笑・文1)

キングは「試合ごとにチーム力が向上し、良いゲームができた。優勝には届かなかったが、全員が勝利に向かって努力し、チームとして大きなものを得たと思う」と語った。

### 箱根駅伝 総合20位

#### 手にした経験次へとつなぐ



区間9位と健闘した国増主将

©KGRR/Get suriku

70回目の箱根駅伝は総合20位に終わったが、選手たちは大きな経験を手にした。往路では1区・木村暁仁(経営2・佐久長聖高)が1位と44秒差の4位。前回と同じ「山上り」の5区を任せられた野下稜平(経済2・鳥栖工高)は前回から約3分タイムを縮めた。復路の7区では、国増治貴主将(経営3・豊浦高)が「区間10位以内を目指す」という宣言通り、区間9位の走りを見せた。懸命に襷をつないだ選手たちの走りは、私たちに多くの感動を与えてくれた。(原熙・文1)



リーグを制した男子(左)と女子(右)

### 出澤が優勝

関東学生卓球選手権大会(12月19~21日、埼玉県)の女子シングルスで、出澤杏佳(文1・大成女子高)が優勝した。出澤は「集中して無心でプレーすることができ、希望が丘高」ペアが3位となった。(小室)

### 出澤が優勝

男子は、シングルスで野田颯太(文1・育英高)が準優勝。ダブルスで上村太陽(文3・大阪桐蔭高)・阿部悠人(文2・希望が丘高)ペアが準優勝、吉田海斗(文4・希望が丘高)・吉田聖斗(文3・希望が丘高)ペアが3位となった。(小室)